

受験番号
氏名
模範解答
得点
100

問一	1	3点
問二	3	3点
問三	2	3点
問四	4	3点
問五	(1)	3点
	3	3点
	(2)	3点
	2	3点

3点 完答

【解答例】

問六	か	愛
	に	と
	よ	い
	る	う
	も	気
	の	持
	。	ち
		を
		経
		験
		し
		た
		こ
		と
		が
		あ
		る
		か
		な
		い

4点

【解答例】

問七	と	い	こ
	だ	る	と
	と	整	ば
	い	理	の
	う	済	意
	考	み	味
	え	の	を
	。	概	理
		念	解
		に	す
		、	る
		た	と
		だ	は
		名	、
		前	す
		を	で
		付	に
		け	持
		る	っ
		こ	て

6点

【解答例】

問八	(2)	(1)
	た	自
	気	分
	持	の
	ち	中
	が	に
	何	あ
	な	る
	の	、
	か	整
	を	理
		さ
		れ
		て
		い
		な
		い
		漠
		然
		と
		し

4点

【解答例】

問九	で	「	む	返	「	後	後
	ち	は	だ	る	後	悔	悔
	が	振	け	点	悔	も	と
	う	り	で	で	も	「	反
		返	失	は	似	反	省
		る	敗	は	て	省	も
		こ	が	似	い	も	自
		と	次	て	る	分	の
		で	に	い	が	の	し
		次	活	る	、	し	た
		の	か	「	後	た	こ
		失	さ	後	悔	は	と
		敗	れ	悔	「	は	た
		を	な	は	が	た	だ
		防	い	が	、	だ	反
		ぐ	が	、	「	悔	省
		と	「	反	悔	や	
		い	反	悔	や		
		う	省				
		点					

6点

問一	②	1	3点
	①	4	3点
問二	4	3点	
問三	1	3点	
問四	2	3点	
問五	3	3点	

問六	1	3点
問七	3	3点
問八	4	3点
問九	長い付き合	3点
問十	1	3点

【解答例】

問十一	と	ら	友
	を	め	達
	喜	て	と
	ぶ	い	将
	気	た	来
	持	自	を
	ち	分	語
	。	の	り
		デ	合
		ザ	い
		イン	な
		が	ら
		実	、
		現	戦
		し	時
		そ	下
		う	で
		な	あ
		こ	き

6点

問十二

2
5

順不同
3点×2

4	1
遺	減
留	益
5	2
刻	財
む	務
6	3
た	修
ず	復
ね	
る	

2点×6

12	6	6	15	18	7	8	6	4	18	100
----	---	---	----	----	---	---	---	---	----	-----

(記述式解答の採点について)

第二回

一 問七

【模範解答例】

(ことばの理解、獲得について書いて書けて2点) (知識、気持ち、体験 2点)

(ことばの意味を理解するとは、すでに持っている整理済みの概念に、ただ名前を付けることだという考え。 (名前を付ける、あてはめるという内容が書けて2点)

[48字] (配点…6点)

【満点を与えた解答例】

ことばの意味を獲得することは、いままでの自分の経験に、名前を与えることであるということ。 [44字] (6点)

【部分点を与えた解答例】

(1点) (2点)

(ことばの意味を理解させることは、すでにある知識に、あたらしいことばのラベルを貼る作業。 (0点)

[43字] (部分点…3点)

「採点のポイント」・「理解させる」は使役になり、主客が入れ替わってしまうため、1点減点。

・「ラベルを貼る」がたとえであることと、「作業」ではなく「考え」なので、2点減点。たとえ表現は、必ず自分の言葉に置き換えて答えること。

一 問九

【模範解答例】

(ものではない気持ちなどのことばを比較して1点)

「後悔」と「反省」

(両者の似ている点が書けて2点)

「後悔」も「反省」も自分のしたことを振り返る点では似ているが、「後悔」はただ悔やむだけで失敗が次に活かされないが、

(二つ目の特徴が書けて2点)

「反省」は振り返ることので次の失敗を防ぐという点でちがう。

[85字] (配点…7点)

【満点を与えた解答例】

「笑う」と「微笑む」

どちらも明るく表情を変える点では同じだが、「笑う」は声を出したり表情がとても明るくなっているのに対し、「微笑む」は比較的穏やかで優しく静かで、表情を少し明るくしている点で違う。 [88字] (7点)

【部分点を与えた解答例】

(1点) 「嫌う」と「にくむ」

(1点)

どちらも人に対する感情の言葉として使うが、「嫌う」はただ相手がいけ好かないなど、まだ軽い気持ちだが、「にくむ」は心

底相手をうらむような「嫌う」より深刻な感情の言葉である。 (2点)

[86字] (部分点…6点)

「採点のポイント」・「人に対する感情の言葉」という表現では、喜怒哀楽のすべてが入ってしまい、どのように似ている

かの説明としては不十分なため、1点減点。

二 問十一

【模範解答例】

(友達とで1点) (将来で2点)

友達と 将来を語り合いながら、 (戦時中であきらめていたで1点) (デザインが形になることの喜び、幸福感で2点)

[48字] (配点…6点)

【満点を与えた解答例】

戦時中ながらも、こうして親友達と心を通わせ裁縫をしながら将来を話すことに幸せを感じる気持ち。 [46字] (6点)

【部分点を与えた解答例】

互いのきずなを確認したり、親睦を深めたりすることで感情の快の領域を刺激したから。 [40字] (部分点…3点)

「採点のポイント」・後半の戦時下ながら自分のデザインが実現しそうなことへの喜びが書いていないため、3点減点。

(1点) (後半) (つくることができて、うれしい気持ち。 (1点)

戦時中、自分が考えたデザインのブラウスを 仲の良い三人とつくることができて、うれしい気持ち。 [45字] (部分点…4点)

「採点のポイント」・将来について語る要素がないため、2点減点。